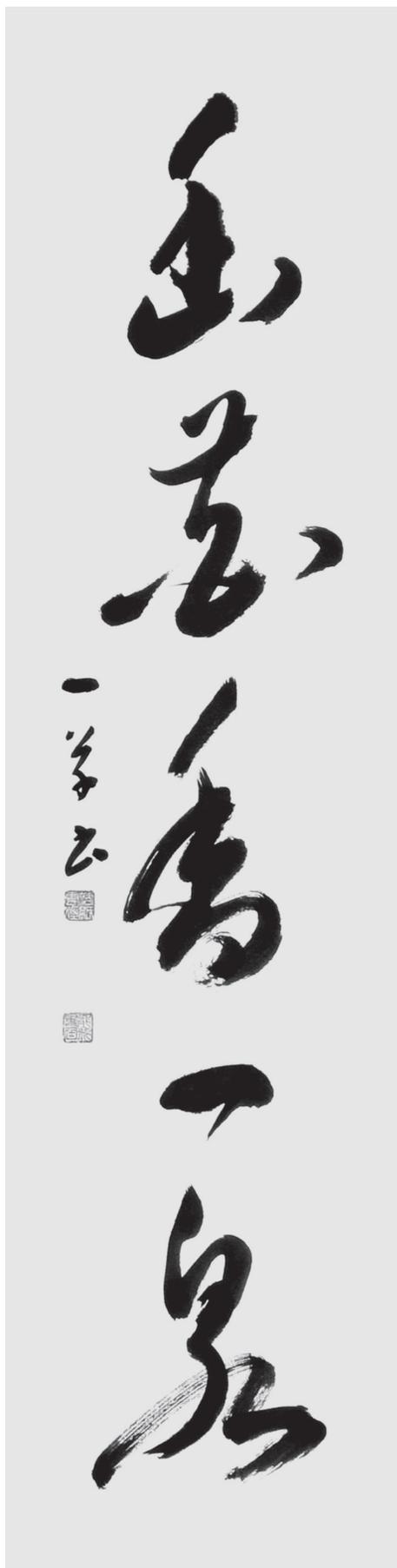


半切四分の一に書くⅡ(9)

締切り 九月二十四日(必着)



神谷 葵水先生書

◎本誌に条幅(半切)の課題が正式に設置されたのは、平成十一年七月のことです。その前の約八年間は、半切への足がかりとして半切四分の一のサイズ(約六八cm×十七、五cm)で条幅の基礎を学んでまいりました。

◎このコーナーでは、元愛知教育大学名誉教授・神谷葵水先生の当時のお手本をもとに、改めて条幅の基礎を学びます。平成二十六年にも一年間学びましたので、今回はパートⅡになります。

◎条幅は苦手という方、大きい作品に気後れしている方は、この機会にぜひ、条幅の草稿作りのつもりで気軽に取り組んでみましょう。

〔読み〕 幽花香一泉 (清・呉偉業)

〔大意〕 谷間に咲く花の傍には泉が香しく流れている。

〔解説〕

・用紙に五文字をバランスよく収めることが大切です。行の中心、字間、天地のあき等に注意しましょう。紙を折る、下敷の罫を利用する等の方法もあります。

・お手本をよくみると、各字に大小の違いがあることがわかります。潤渇も考えてみましょう。その方が動きやリズムが出て表現が豊かになります。

・できる方は、書体や崩し方を変換してオリジナルな作品に挑戦して下さい。その際、字典でしっかり調べることが肝要です。

・落款(署名・印)も作品の一部です。丁寧に取めましょう。印のない方は□を赤ペン又は朱墨で書いて下さい。

〔作品の出し方〕

▼毛筆部Ⅱ条幅半切四分の一(約六八cm×十七、五cm)に書いて下さい。

▼硬筆部ⅡB5版(二五七mm×一八二mm)以下の紙に課題手本のような枠線を引いて下さい。用具は自由ですが、細い線は相応しくありません。(フェルトペン・筆ペン可)

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・毛筆漢字の成績(硬筆の場合は硬筆規定の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕

書写体「善」



「同字は微妙に変化を」



「庄の変化を」

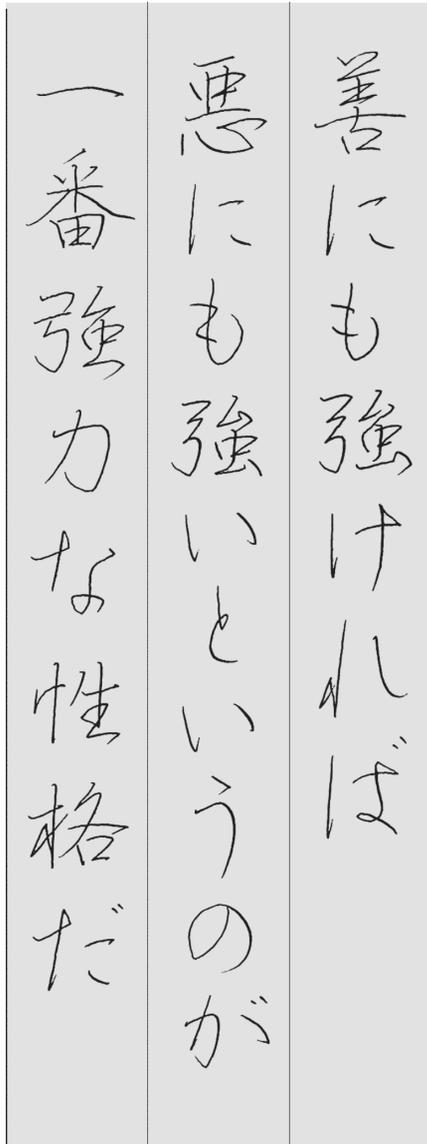


「接し方」



◎印刷のための「活字体」に対して、手書きする場合の伝統的な字体を「書写体(筆記体)」といいます。書道ではよく使われますので、字典で調べてみましょう。

▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。

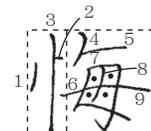
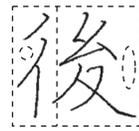
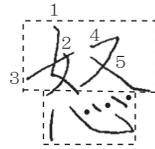


おくむら のぶ ゆき 書
奥村暢之

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



	後	怒
	悔	り
ソ	が	の
フ	や	静
オ	っ	ま
ク	て	る
レ	く	時
ス	る	

おお たに せい しょう 書
大谷清城

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

★怒りの：(書体||楷書)

ソフォクレス(前四九七頃〜四〇五)
古代ギリシャの三大悲劇詩人

怒りにかられて口走ったこと、行動に移してしまったことは、怒りが静まると共に後悔に変わっていくものです。どうしてあんなことをしてしまったのだらうと反省しても後の祭りです。後悔しないためにも、怒りを抑える努力をしなければなりません。

◆10月課題予告(行書)

度を超した
無駄な知識は
神聖に見える

★善にも：(書体||行書)

ニーチェ(一八四四〜一九〇〇)
ドイツの思想家

例えば、弁護士・警察・裁判官という正義を掲げて生きている人間に対してひるむことなく、同様に、暴力団・犯罪者に対しても態度を変えらることなく、凜として対応する。
このような人物こそ、誠実で嘘偽りがない、最も強力な性格でしょう。

◆10月課題予告(楷書)

愛は贅沢である
美なる物の外には
存在の価値を認めぬ

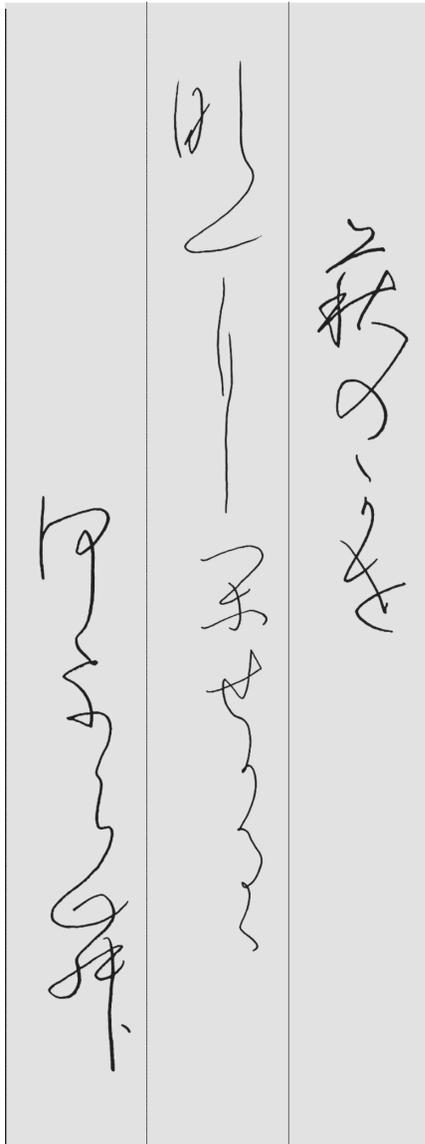
▼教範・書範||行草または草書

▼師範||行書

準初段から六段まで

新入から1級まで

萩の風何か急かるゝ何ならむ



田中貴光書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

萩の風何か急かるゝ何ならむ



田中貴光書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

◆10月課題予告

啄木鳥や落葉をいそぐ牧の木々

(水原秋桜子)

「解説」「せ」の二画目は上に長く、三画目は一画目より少し上に出る。「か」の二画目、三画目は向かい合わせの「い」のように書く。

者 者 者 者
 奈 奈 奈 奈
 那 那 那 那
 耳 耳 耳 耳
 閑 閑 閑 閑

〔古筆参考〕

萩の風何か急かるゝ何ならむ
 (水原秋桜子)

〔句解〕萩の花を風が揺らす、それを見てみると、何かに急かされる気持ちを感じる。一体、それは何なのか。人生の秋の思いか。

〔鑑賞〕秋桜子は戦中戦後、次男の病死、戦災、病氣、山口誓子らの『馬酔木』離脱を経験、心身を衰えさせていたが、石田波郷らの同人復帰後「人生あますところ長からず」と諦観し、自己の特長を生かそうと努め始めた。「何」の繰り返し、つぶやきのような切れは、自分に対する問いをよく表している。

締切り 9月24日(必着)

今年のペン字展は徒然草を題材に書こうと考えています。全懐紙でペン先の引っ掛からない薄い青色の料紙を探しています。作品の構成はもう決めましたので、何種類か見繕って届けて下さい。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙はがき課題はがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具はがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

※手本はつけペン使用

今年のペン字展は徒然草を題材に書こうと考えています。全懐紙でペン先の引っ掛からない薄い青色の料紙を探しています。作品の構成はもう決めましたので、何種類か見繕って届けて下さい。

横 書 き 課 題

浮世絵で有名な安藤広重は、30歳の頃から風景版画に心を入れた。

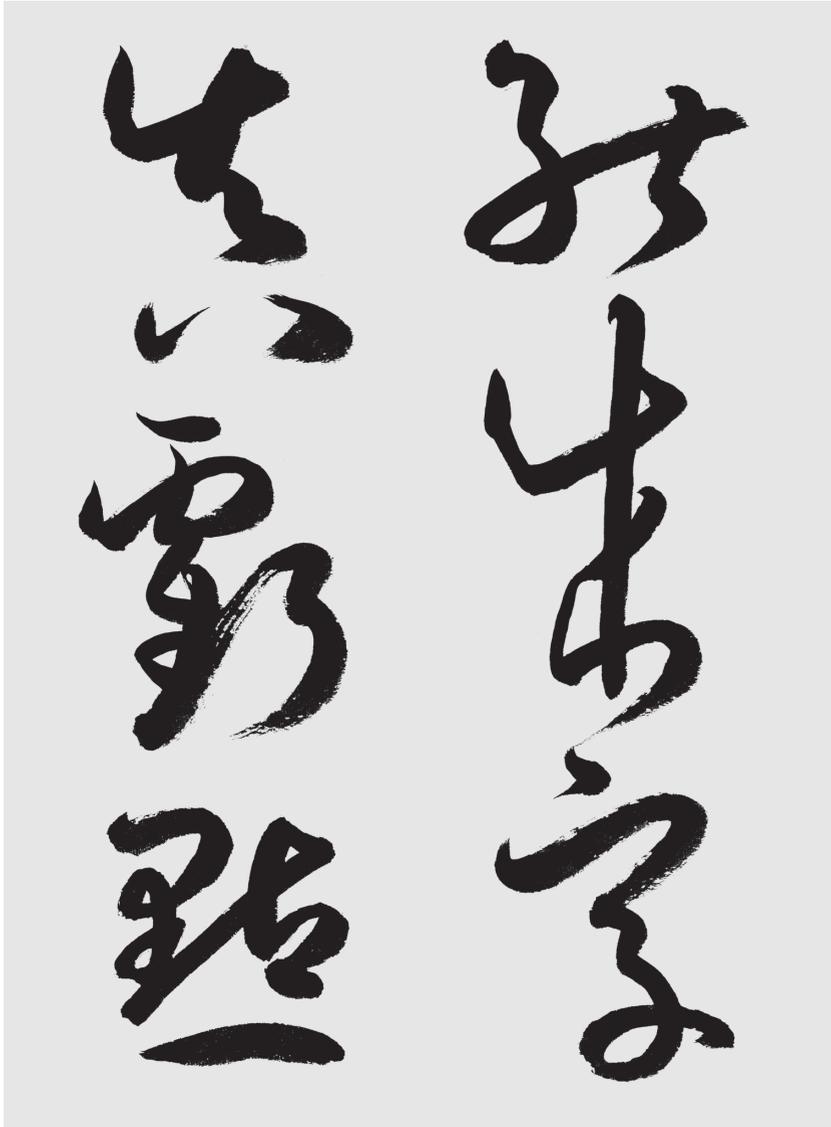
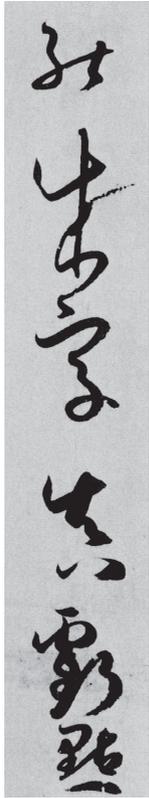
宮城県登米市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 9月24日(必着)

能
成
字
眞
虧
點

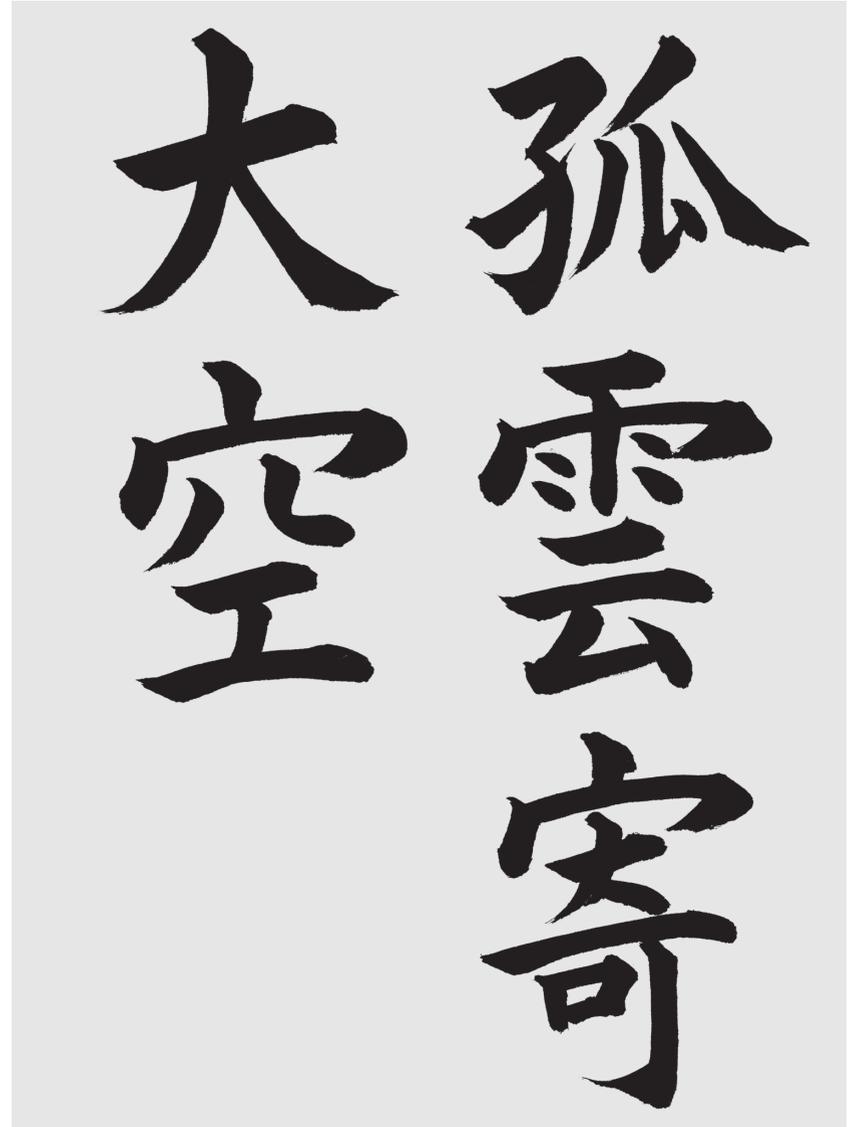


準初段から師範まで

奥村暢之臨

〔出典〕書譜(687) 〔筆者〕孫過庭(648?~703?)

〔読み〕字を成す能(わず)眞は点(画を)虧くも、



新入から1級まで(楷書)

須田一葉書

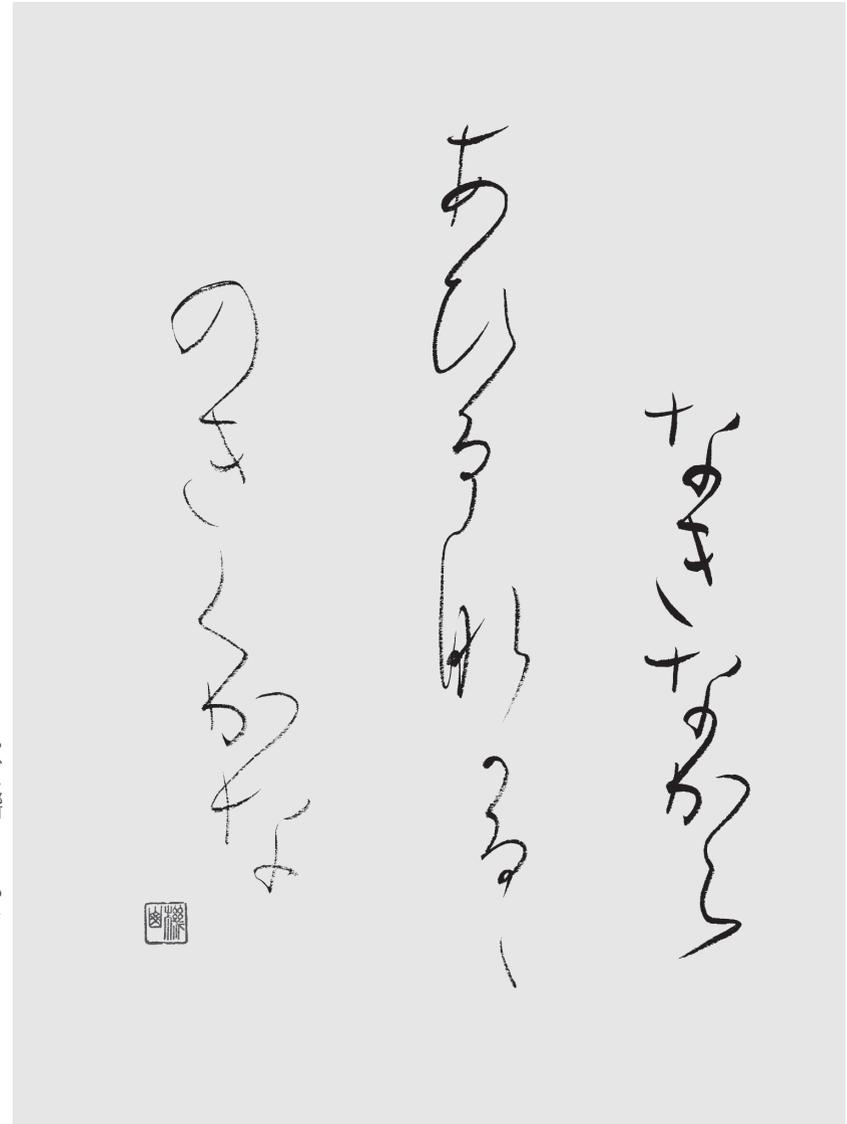
〔読み〕孤雲大空に寄る

〔大意〕広々とした大空にぽっかりと雲が浮かんでいる。

一般部毛筆かな課題

締切り 9月24日(必着)

新入から1級まで



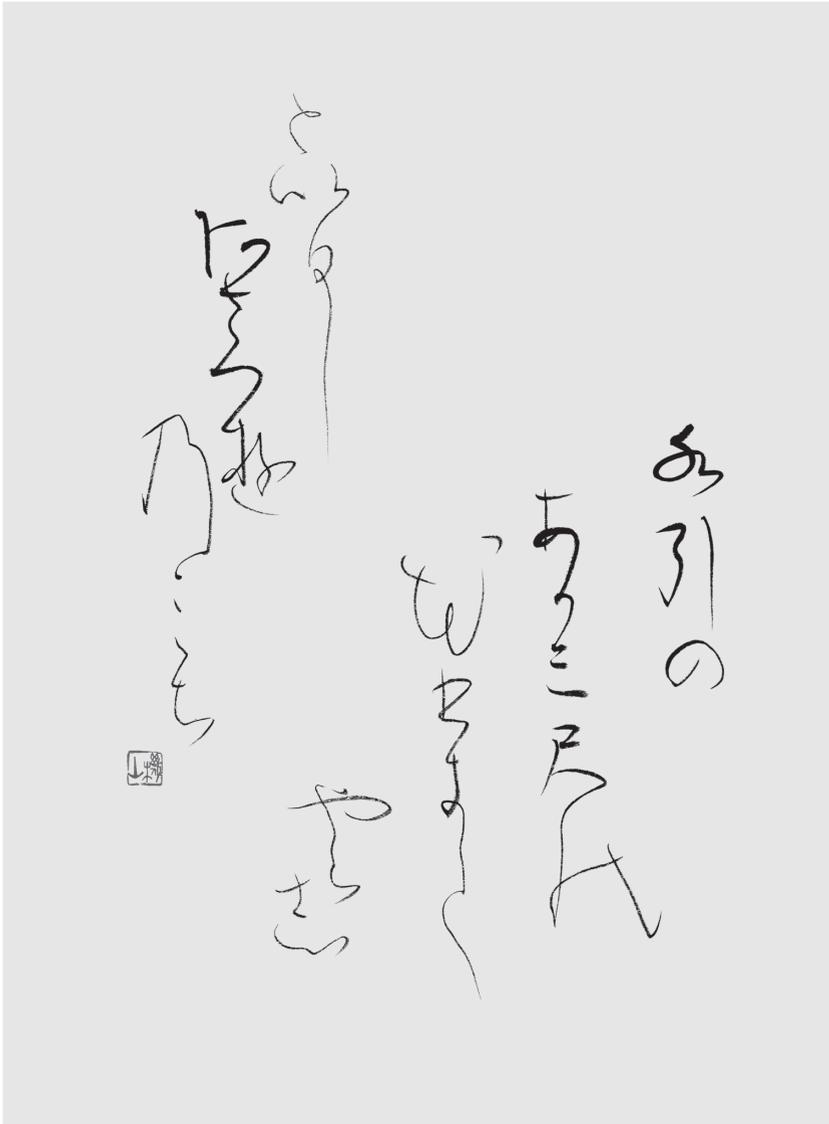
浅井機山先生書

〔出典〕原石鼎

〔句意〕小川の岸に野菊が咲いている。家鴨の群れが鳴きながら流れていく。おだやかな秋晴の田園の景。

準初段から師範まで

■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。



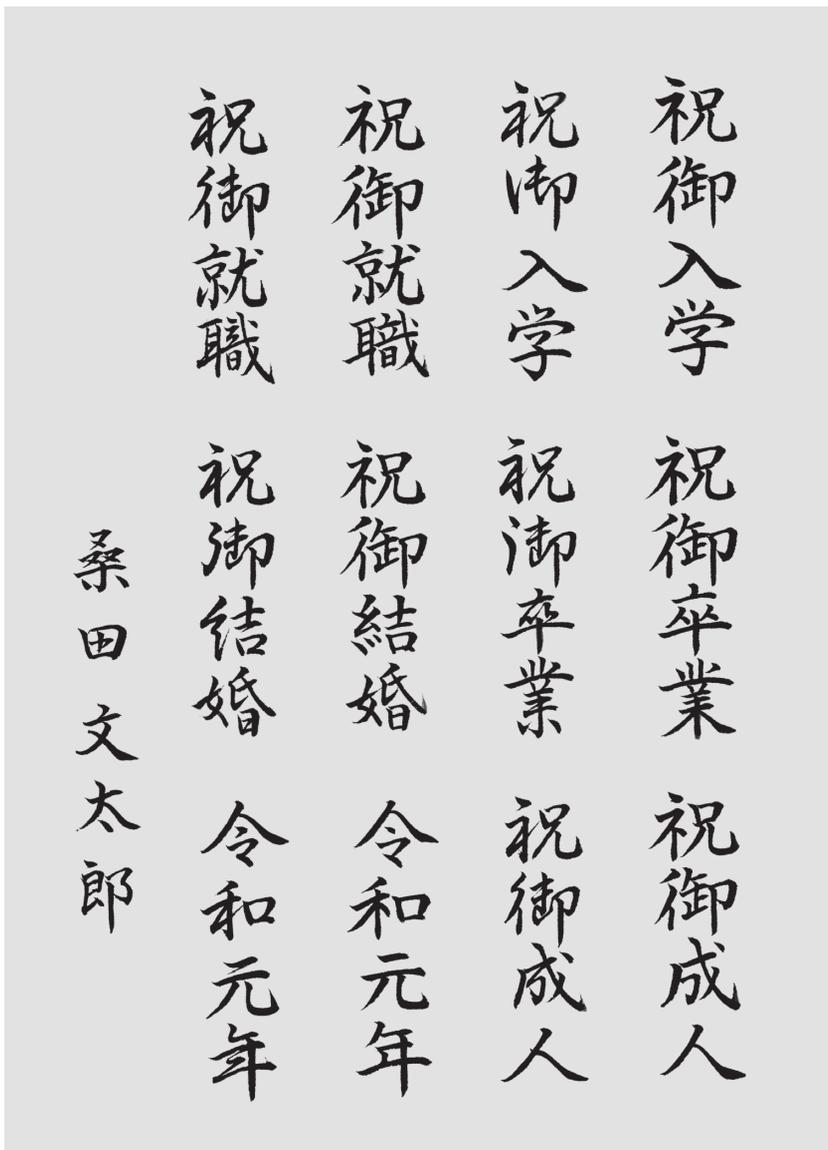
〔出典〕与謝野晶子

〔歌意〕水引草の赤い小花の穂は三尺、それを手で引いて、あなたを行かせまいと言った、この朝露の路に。

水引の赤三尺の花ひきて遣らじと言ひし朝露の路

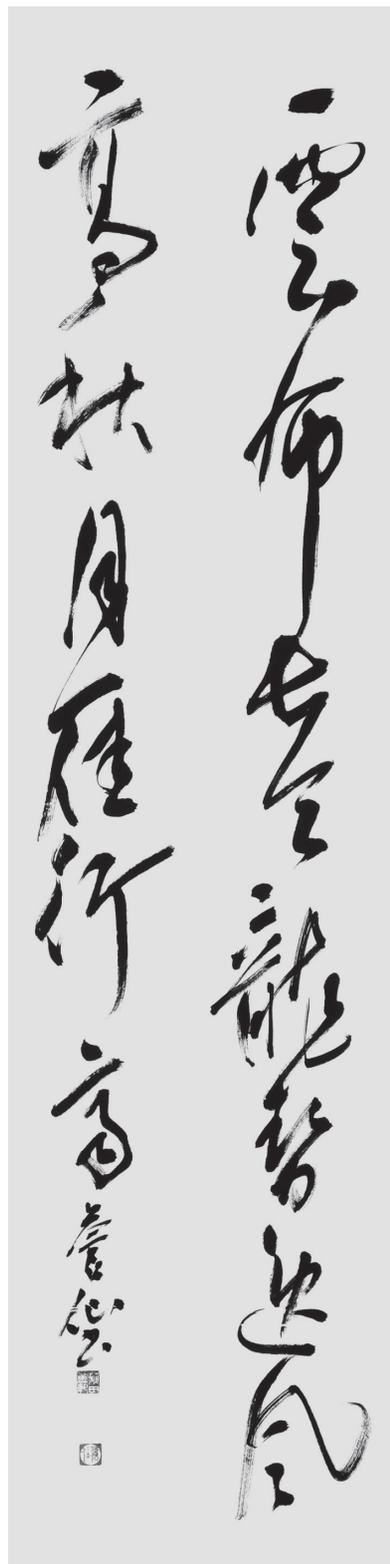
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334 mm × 240 mm)

伊藤梅香 書



締切り 九月二十四日 (必着) 半切 (一三六 cm × 三五 cm)

萩田蒼仙 書

くもしきちょうてんのりゅうせいいつ
雲布長天龍勢逸
かせたかくしゅうげつがんこうひとし
風高秋月雁行齊
さいちえん
崔致遠

〔大意〕空に雲がどこまでも続き龍勢を感じる。秋風は空高く吹き、月明かりに雁の一群が整然と飛んでいる。初出品の方へ

支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

◀今回は特別に、筆ペンの使用も認めます。

〔条幅解説〕細身、太身のどちらの作でも、重たく感じないのがよろしい。それには筆の上下運動を意識して運筆して下さい。

祝御入学 祝御卒業 祝御成人
祝御就職 祝御結婚 令和元年

(ご自分の氏名)

▼今回は、のし紙・のし袋の表書きと新元号の練習をします。右の句を、楷書と行書で書いて下さい。
▼書体は楷書で書くのが正式ですが、一般的には少しくずした行書で書いても失礼にはなりません。むしろ親しみがあっていいでしょう。

▼冠婚葬祭などの表書きは、現実的には筆ペンで書く人が多いようです。今回は特別に筆ペンの使用を認めます。

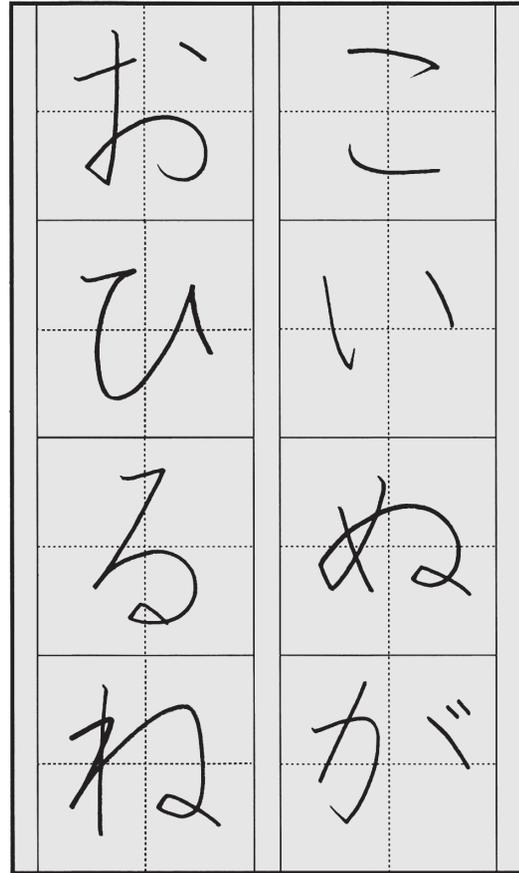
〔条幅・細字作品の出し方〕

■新入から師範まで、どなたでも出書できます。

■成績(天位〜5等)は、評価により毎月かわります。

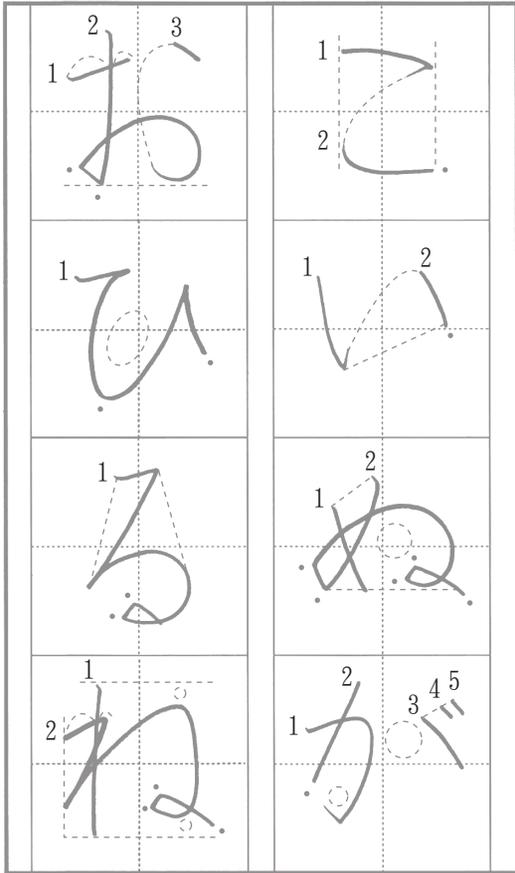
■書体変換、変体仮名の交換は自由です。

よ
う
年



★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)



〈ようぐ〉自由(黒色にかきこ)

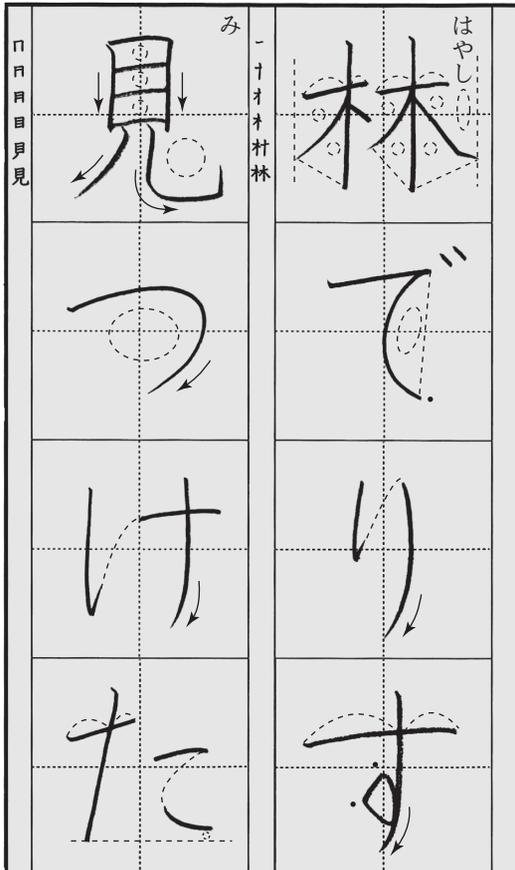
小
一
年



(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

準初段以上

新入〜1級



幼年〜小三年まで
三宅容玉書

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

れ	ク 1 2	九
の	ガツ	月
友	ウ	生
人	ジン	ま

ノ九
ノ月月月
一ナ友友
ノ人

新入〜1級

花	の	九
を	友	月
あ	人	生
げ	に	ま
た	お	れ

小二年
準初段以上

食	あた	新
屋	し	し
さ	い	洋
ん	ヨウ	洋

シヨク
新新新
ヤ
ヨウ

へへ合食
戸屋屋屋屋

新入〜1級

洋	あ	橋
食	る	向
屋	新	こ
さ	し	う
ん	い	に

小三年
準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)

る	歴 ^{レキ} 止
お	史 ^シ
祭 ^{まつ} 祭	祭
り	あ

新入1級

に	あ	古
参	る	く
加	お	歴
す	祭	史
る	り	の

準初段以上

小四年

準初段以上

小四年以上

岡嶋桂川書

作 ^{つく(る)}	旅 ^{たび}
民 ^{ミン}	先 ^{さき}
芸 ^{ゲイ}	職 ^{シヨク}
買 ^{か(う)}	人 ^{ニン}

解説(よく見て習いましょう)

品	の	旅
を	作	先
買	る	で
っ	民	職
た	芸	人

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

小五年

(全員)

小六年

な	し	家
と	食	事
手	器	を
伝	洗	分
う	い	担

(全員)

解説(よく見て習いましょう)

シヨク 食	カ 家
キ 器	ジ 事
あら(う) 洗	ブン 分
て 手	タン 担

〈用具〉自由(黒色に限る)

中一年

を	や	山
撮	か	寺
影	な	の
す	紅	色
る	葉	鮮

(行書)

中二・三年

(行書)

疾	し	部
走	し	活
で	に	対
挑	全	抗
む	力	リ

▼小三年以下の課題 田代華光書

出	お	父	家	秋
か	は	の	族	分
け	か	の	そ	の
ま	ま	古	ろ	日
す	い	里	っ	は
	り	へ	て	
	に			

◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 9月24日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 清水希光書

写	秋	深	絵	色
生	の	み	の	取
し	風	を	具	り
ま	景	増	を	ど
す	を	し	並	り
		た	べ	の



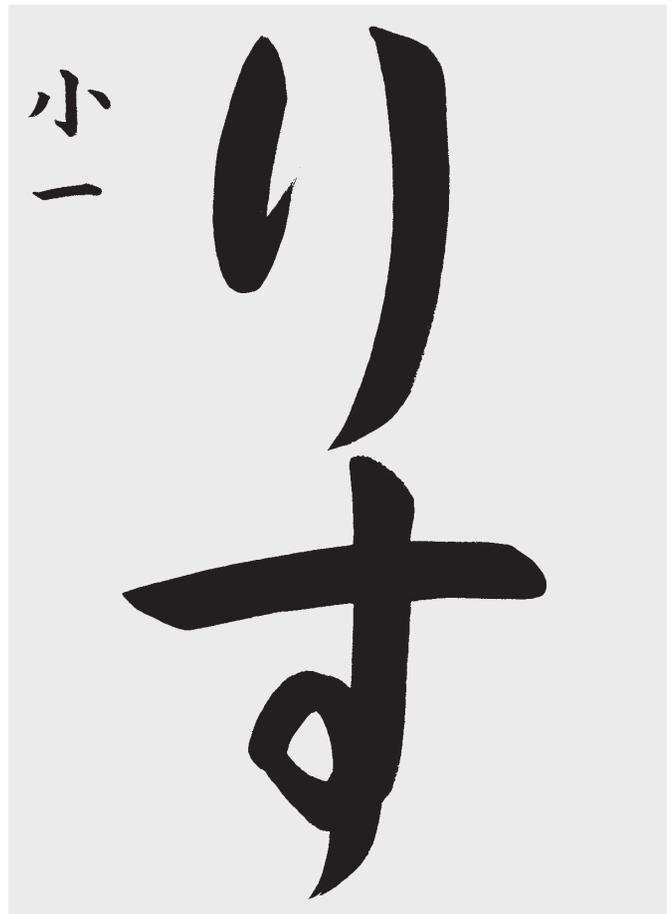
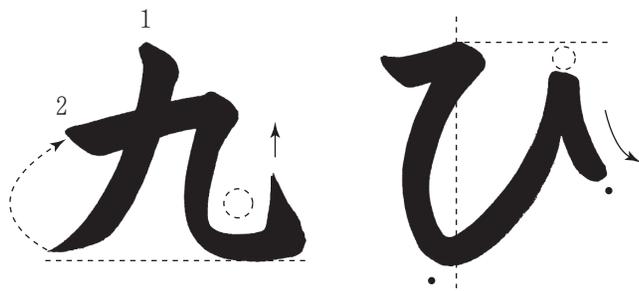
◎お手本はつけペン使用

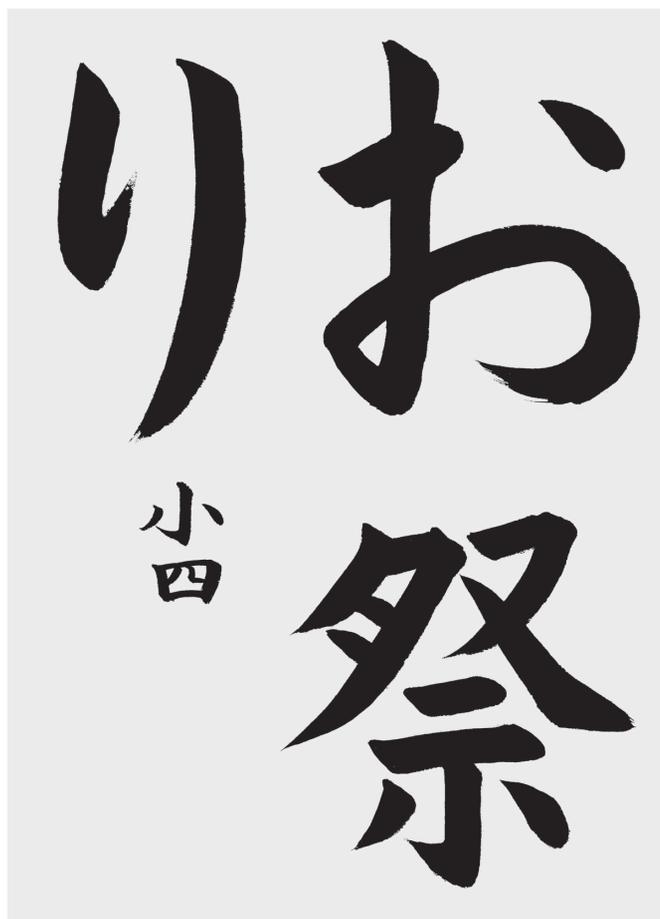
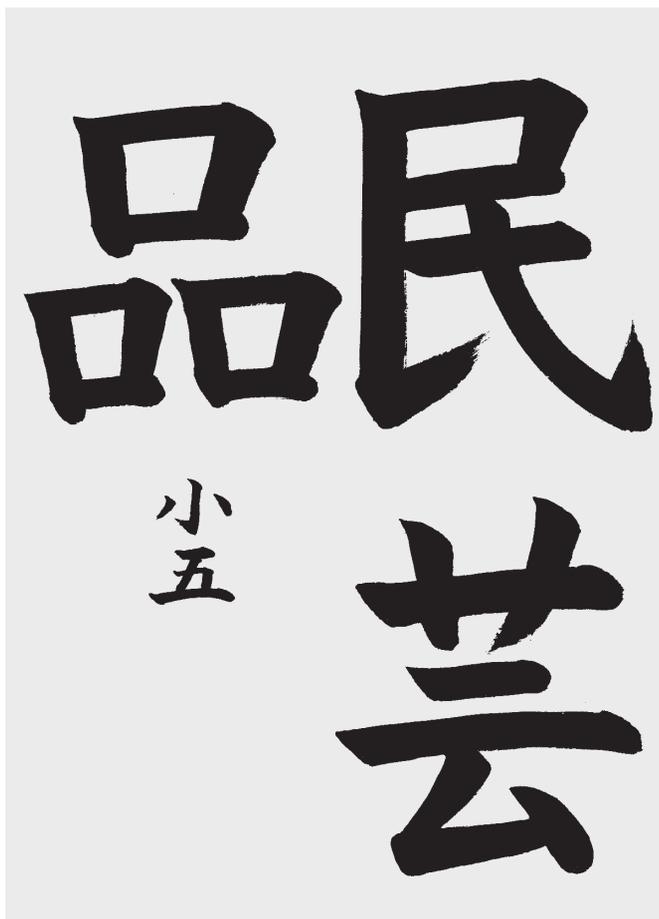
◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



幼年〜小二年
水野碧友書





小三、小五年

玉樹小華書

中三
疾 全
走 力

小六
洗 食
い 器

小六(中二・三年)

水野香竹書

葉 疾 走
食 器 紅

中一
紅 寺
葉 の